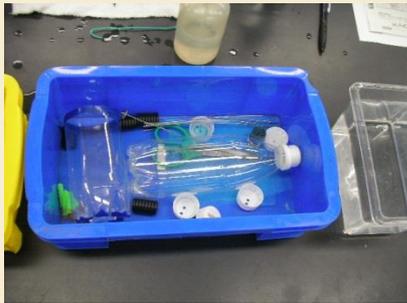


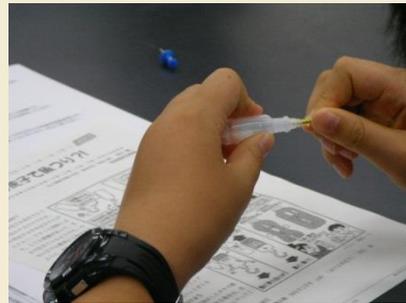
# 実験の一部をご紹介します

第6回9月6日(日)「おどる浮沈子で魚つり」

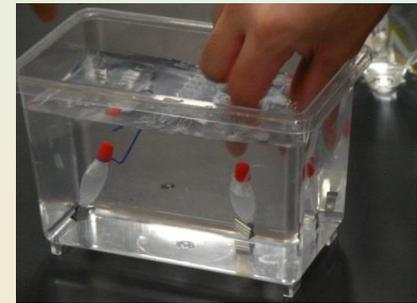
講師：市江 寛 先生（神奈川県私立鎌倉学園中学校・高等学校）



浮沈子を作るための実験材料です。



容器の側面に穴をあけ、容器の口からS字フックを差込み、浮沈子が完成。



つり上げ用の魚が水の中で立ち上がるように魚に入れる水の分量を調整する。



ペットボトルを強くにぎると中の浮沈子が沈み、離すと浮沈子が浮くことがわかった。



浮沈子が沈む時の浮力と重さについて市江先生の実験で浮力<重さがわかった。



ペットボトルを傾けたり工夫して、魚つりの成功！！